特集

香美シティCityランキング

市内の世代別人口１位は、６０歳～６９歳で、市の人口の１６．２％を占める。団塊の世代（１９４７年～１９４９年生まれ）を含む世代が全国的に多く、日本の総人口の１４．２％を占める。

世代別人口

順位	世代	人口
1	６０歳～６９歳	４，６６４人
2	７０歳～７９歳	３，９８３人
3	５０歳～５９歳	３，７７７人
4	３０歳～３９歳	２，９１４人
5	８０歳～８９歳	２，８６９人

平成２２年１０月１日現在の香美市の人口を１０歳ごとの世代別で見たランキング。総数は２８，７６６人。２０歳～３９歳は外国人が多く１５４人。単年齢別で見た場合、１～３位までは団塊の世代（６２歳→６１歳→６３歳）であるが、４位は１９歳（４９６人）。平成２１年に高知工科大学が公立化され、県外学生が増加したことによると考えられる。
資料：平成２２年国勢調査

職業別人口

順位	職業	人口
1	農業	２，２９０人
2	卸・小売り	１，９４８人
3	医療・福祉	１，７７０人
4	製造業	１，４２７人
5	建設業	８２５人

香美市在住で１５歳以上の産業別就業人口ランキング。就業者総数は、１２，８４７人。３位の医療・福祉は香美市民の就業者のうち、１３．８％を占める。高知県は、医療・福祉に従事する人口の割合が全国１位で１４．９％。全国と比較した場合、高齢化率が高いということが影響していると考えられる。
資料：平成２２年国勢調査

市内の職業別人口１位は農業の２，２９０人で、全国的に第３次産業への就業人口が多い中、香美市は農業への従事者が多く、全体の１７．８％。従事者の高齢化率が高く、６０歳以上が６６．１％（１，５１３人）を占める。３０歳未満は１００人。高知県の就業者に対する農業従事者の割合は、青森、岩手、宮崎に次いで全国４位の１０．０％。

農作物生産量１位の米は作付面積でも断トツ１位の６７９ｈａ。経営耕地面積が３０ａ以上等の条件を満たす事業者を指す経営体数においても１位で７３５経営体。２位のニラは米と生産量はわずかな差であるが、作付面積は５３ｈａと小さい。作付面積の市内２位はネギ類で１６９ｈａ。３位がユズで１６８ｈａ。

農作物生産量

順位	作物	生産量
1	米	３，２６０ｔ
2	ニラ	３，２４４ｔ
3	ネギ類	２，６５４ｔ
4	ショウガ	２，３７６ｔ
5	ユズ	１，４３７ｔ

市内で作られる農作物の生産量ランキング。ユズ玉の出荷量は全国一。経営耕地面積が３０ａ以上等の条件を満たす事業者を指す経営体数において、ネギは市内２位、県内１位の２７０経営体。ゆずを多く含む、みかん以外のかんきつ類は市内３位・県内３位の２１６経営体。ニラは市内４位、県内２位の１１１経営体。
資料：作物統計、高知県の園芸
２０１０年世界農林業センサス

売上が大きい業種

順位	業種	売上
1	製造業	２３６億４，４００万円
2	卸・小売業	１９３億１，０００万円
3	医療・福祉	８２億４，９００万円
4	農林漁業	５４億９，３００万円
5	生活関連サービス、娯楽業	２５億１，６００万円

市内の売上を業種別で見た場合のランキング。全国的には、卸・小売業が製造業より売上額が高い。全国的には下位の農林漁業が香美市では４位。ちなみに市民の年金を産業に見立てると、国民年金と厚生年金だけで、１２０億２，３７８万円。他の年金を含めると、かなりの額になる。
資料：平成２４年経済センサス活動調査、平成２５年国民年金市区町村別受給権者数

市内で売上が大きい業種の１位は製造業。市町村別でみると、香美市の製造品出荷額は県内６位。製造業の中では、生産用機械器具製造業、食料品製造業が群を抜いて出荷額が高く、農機製造やショウガの加工業が盛んである。土佐山田町片地には製造工場の入った高知テクノパークがある。
資料：平成２２年工業統計

市民の皆さんにご協力いただいている統計調査の結果をランキング形式で報告します。
毎年、国や県、市による統計調査が行われており、今年は６月に経済センサス基礎調査・商業統計調査、９月に全国消費実態調査、１２月に工業統計調査を行います。

来年は全ての人が対象になる国勢調査、農林業を営んでいる方を対象に農林業センサスを行います。

調査結果は、国や地方公共団体の政治・行政、民間企業・研究機関で利用され、国民生活に役立てられています。調査へのご協力をお願いします。